

## 第25期第10回常任理事会議事録

日 時：9月7日（木）13:30～18:00

場 所：気象庁観測部会議室

出席者：浅井、岡村、竹内、荒川、能登、木田、村上、  
古賀、中村、村松

花輪 公雄 氏

地球回転変動に関する研究

内藤 勲夫 氏

## 議 事

## A. 報告事項

1. 第25期第9回常任理事会議事録は一部修正の上承認された。
2. 各委員会報告

## 「庶務」

主なものは次の通り

- ・ 共催名義使用承認1件、協賛名義使用承認1件
- ・ 秋季大会の航空便利用上の便宜について報告があった。
- ・ 会員データベース電算機管理及び機関誌などの発送業務を明年度から業者委託することについて、9月から具体的な話し合いにはいる。

## 「会計」

- ・ 7、8月分の収支について説明があった。文部省から研究成果促進費として補助金の交付があった。

## 「気象集誌」

- ・ 気象集誌第5号の編集内容の報告があった。
- ・ 「天気9月号」掲載のパソコン通信閉局のお知らせと8月の利用状況の報告があった。

## 「国際学術交流」

- ・ 国際学術研究集会参加の補助金（平成元年度下半期）申請が2名あった。

## 「講演企画」

- ・ 秋季大会の研究発表は227題ではほぼ平年並となった。  
第1種 143、第2種 75、ポスターセッション7
- ・ 韓国の気象学会会長の特別講演は40分の予定

## 「各賞」

- ・ 堀内基金奨励賞候補者の投票結果賛成多数で次の通り決定した。  
北太平洋の大規模海面水温変動に関する研究

## 「総合計画」

- ・ 木田理事から AGU (1990) に関して次の報告があった。

1. 大気部門のメインテーマ「気候システムとその変化」をアメリカのプログラム委員に提案している。またこのテーマの他に一般の発表もできるコーナーも設ける必要がある。
2. 投稿の締切は2月の予定
3. プログラム委員会を強化する予定である

## 「その他」

- ・ 古賀理事より、気象庁主催（気象学会後援）の講演会「21世紀の気候はどうなる」実施状況説明があった。

## B. 審議事項

1. 会員の新規加入  
新規加入24名が承認された。
2. 奨励金受領候補者の選考について  
推薦委員会より3件を選定した旨、選定理由書を添えて報告があった。選定理由書の中で出身校などの経歴は書く必要がないのでは、との意見が出て、今後、選定理由として特に必要がない限り書かないことになった。  
全理事の投票を行うことになった。
3. 各賞候補者の会員資格の有無についての覚書  
審議の結果、庶務担当理事案を一部修正し、全理事の意見を求め、第4回理事会で確認することとした。
4. 「山本・正野論文賞」のメダルの図案について  
総合計画・庶務担当理事から山本賞の図案を残して、賞の文字などを訂正する案が提示された。  
審議の結果、「山本賞」設定当時、現在の図案を採択した経緯を調べた上、次の常任理事会で検討し第4回理事会で決めることにした。
5. 気象集誌の印刷について  
印字密度を従来の 300DPI から 1200DPI に向

上する案が審議されたが、今年度は現状のままとし、来年度については第4回理事会で再度審議することになった。

6. パソコン通信のバージョンアップについて

利用の拡大に対応するため、バージョンアップが提案されたが開始後まだ期間が浅いので、利用状況を見てから検討することにした。

7. 外国人会員及び外国滞在会員の会費の扱いについて

会計担当・庶務担当理事案について検討が行われた。

提案の骨子は次の通り

1. 外国人会員の会費の円建て払い
  2. クレジットカードによる支払い方法の導入
- 重要なことなので更に検討を進めることになった。

8. 平成2年度の事業計画案及び予算案について

第1次案が提示された。今後、各委員会および各支部から意見を求め継続的に案を見直して行くことになった。

9. 消費税について

会計担当理事から、日本気象学会は消費税に関連する業者区分は簡易課税業者として登録することにする旨の説明があり承認された。

10. IAMAP-93日本開催決定について

理事長から IAMAP 第5回総会(レディング)において満場一致で日本開催が決定したこと、及び研究集会の状況について詳しい説明があった。(天気12月号に報告の予定)当面、学会内に準備委員会を設けて準備を始めることになった。

11. 故堀内会員の追贈寄付金の運用について

第4回理事会で審議してもらうことになった。

12. 委員の変更が次の通り承認された。

天気編集委員

新委員	中村 雅道	気象庁観測部高層課
旧委員	柴田 誠司	同 上

気象研究ノート編集委員

新委員	田畑 明	気象研究所台風研究部
-----	------	------------

旧委員	近藤 洋輝	気象研究所予報研究部
-----	-------	------------

編集後記：気象学会秋季大会も終了し、一段落というところです。最近の学会発表におけるプレゼンテーション技術、機器の発展には目を見張るものがあります。カラー化、三次元表示は勿論のこと、観測や数値実験の結果の動画表示も比較的容易になっています。このような視覚に訴える技術は研究者に示唆や洞察を与え、場合によっては予算を獲得するための強力な武器にすらなります。一方、学生や一般人の人達にとっては、大気現象に対する関心と理解を得るために不可欠なものとなっています。

編集委員会でも来年度の企画として、天気にカラーページを新設し、数値モデルや観測結果をカラー写真でお届けしようという声が上がっています。始めは毎号というわけにはいかないと思いますが、軌道に乗れば定期的に掲載しようと考えています。とりあえずストックを集めようということで、各編集委員が近くの会員の方達に当たるということになりましたので、その節は宜しくお願いします。また、皆様からの寄稿もお待ちしております。(Y.T.)